

# 成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

東葛学生吹奏楽団 LEGALIS

所在地	千葉県柏市	設立年	2015年
運営主体	Kashiwa Special Sounds これまで吹奏楽のイベントを多数開催。単に演奏を聴いてもらうだけでなく、楽器販売会社の協力を得て楽器体験を行ったり、楽器を持参した方や手作りのシェーカーを配布し吹奏楽コンクールの常連校である市立柏高等学校と一緒に演奏するなどの参加型のイベントを行ってきた。		
事業目標	吹奏楽団を立ち上げるにあたっての課題としては①楽器の確保②練習場所の確保 予算面で持続可能な運営を行うには③団員15名以上が必要 これらをクリアすることが現時点での事業目標となる。 また、立ち上げからの課題解決方法など様々な取り組みをモデルケースとして全国に発信する。		
きっかけ	教員の働き方改革及び部活動の新しい指針に基づき、今後は「学校部活動」から「地域部活動」への移行がすすんでいく。 部活動では顧問となる教員の負担が大きく、吹奏楽が盛んな東葛地区だからこそ地域人材を活用するなど地域課題として取り組む必要があると考え、 吹奏楽を楽しみたい学生の受け皿、教員への負担軽減、地域でこれまで培った人材を活用、の3つを柱に東葛地域の学生(小学4年から大学生までを想定)を対象とし、吹奏楽の演奏を通じ協調性や人間形成の場とする「東葛吹奏楽団」を立ち上げた。		
団体・組織等の連携			
活動場所	柏市中央公民館 柏市の近隣センター		
活動概要	毎週日曜 13:00-17:00に練習を行っている。 順位づけされるコンクールには出場せず、地域のイベントや夏祭りなどでの演奏披露と年に1回行う定期演奏会が活動の主体となる。		

## ○本事業による成果

### ○メンバー数

・9月:5名でスタート。12月+1名、2月+1名で合計7名

### ○楽器提供の実績

・寄付5台:トランペット(使用中)、トランペット、コントラバス、電子ドラム、ホルン  
・一定期間貸出4台:チューバ(使用中)、ホルン、ユーフォニアム、クラリネット

### ○地域との連携

・メセナ(企業による文化支援)1件成立

### ○メディア掲載実績

・新聞5紙:柏市民新聞8/13号、東葛まいにち8/25号、柏市民新聞9/24号、柏市民新聞2/12号、ちいき新聞2/18号

・ケーブルテレビJ:COM:「ジモト応援!千葉つながるNews」8/16放送

### ○3/19開催「第一回定期演奏会」

・チケット販売180枚(2022.3.5現在)

### ○クラウドファンディング実績

・2021/7/16~8/31まで 17万円 ・2022/02/16~現在進行中 8.7万円

### ○SNSの活用

・毎週2~3回の投稿ペース Twitterフォロワー730人越え

→全国の吹奏楽団と相互フォローを行い、楽団運営の工夫などの情報発信を行う

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

吹奏楽は教員による一方的な指導がまだに残っている。コンクール勝利至上主義による軍隊のような指導も多く、返事は大きな声で「はい!」のみ。疑問があっても周りに合わせて「はい!」と言わざるを得ない状況は吹奏楽部の指導現場でたびたび見受けられる。

当団では、講師からの一方的な指導(ティーチング)はせず、問いかけや双方向のやり取り(コーチング)に重きをおいている。

演奏の技術向上だけを目指すのであれば、一方的な指導の方が上達は早いかもしれない。しかし、①自分で考え②その結果を発言する。という行為をメンバーそれぞれに何度も繰り返すことで、技術向上の時間はかかるが、理解度が深まり、さらに自ら考える、という社会人基礎力の向上が図れると考えている。

保護者へのアンケートでは「自分の考えを発言できるようになった」「人と話すことが平気になった」「集中力がついた」といった声をもらった。

## ○運営上の工夫

これまで無料だった学校部活動が地域移行で有料になってしまうことはハードルが高いが、SNSで練習内容を公開していることで理解が増えているように感じる。

保護者へのアンケート結果をSNSに公開した投稿は反響があった。

保護者から「体験してみたい子がいるが」と声をかけてもらうことも増えてきた。

①Tシャツのデザイン②定期演奏会の選曲③プロ講師が作曲した曲名など、団員の意見を反映し決めていることで団員が楽団運営を自分事として捉えてるようになっている。

合奏レッスンばかりではなく、楽器パートごとの個別レッスンも行っている。

コロナ禍でコンサートなどのイベントが中止となり、演奏参加アルバイトなどが激減している音大生への就業機会を提供しつつ、パートごとの専門レッスンを行い、演奏技術の底上げを行っている。

教育委員会からのアドバイスで、定期的に柏市の記者クラブに楽団の情報提供を行い、目にとまれば取材してもらっている。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所は毎月抽選に参加する手間があるが、外れても他の選択肢があるため現状のままで問題はない。

指導者はプロのアーティストのため、公演があると参加できないこともある。その場合、指導者が指定したゲスト講師をよび、テーマに基づいたレッスンを行っている。

活動経費のほとんどは指導者謝金だが団員から毎月団費を徴収しているため、助成などに頼らない自立運営が目前まできている。

定期演奏会など経費がかかる場合は、クラウドファンディングを活用するなど工夫している。

柏市教育委員会(文化課、指導課)とは定期的に情報交換をさせてもらい、顧問などとの打合せでは楽団を紹介してもらったり、チラシを各学校に配布してもらうなどの協力を得ている。

地域の新聞などの取材も多く、地域の企業からの文化支援(メセナ)も定着しつつある。

SNSを活用し情報公開し全国の吹奏楽部をフォロワーにすることで注目を集められるようになってきた。休眠楽器の寄付をSNSで募ったところ楽器の提供がいくつかあり、団に楽器があることが入団の決め手となった例も(2名)

あり新聞でも取り上げていただいた。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

・楽団があることを知ってもらう

→プロが演出する第一回定期演奏会を録画し、編集した動画をSNSや駅前のデジタルサイネージなどで公開することで認知度をあげていく

→イベント出演の依頼が増えており、演奏披露とともに団員募集のチラシを配布していく

・日曜のみの活動のため、平日の自宅練習を充実させたい

→You tubeを活用した自宅のできる個人練習動画の作成

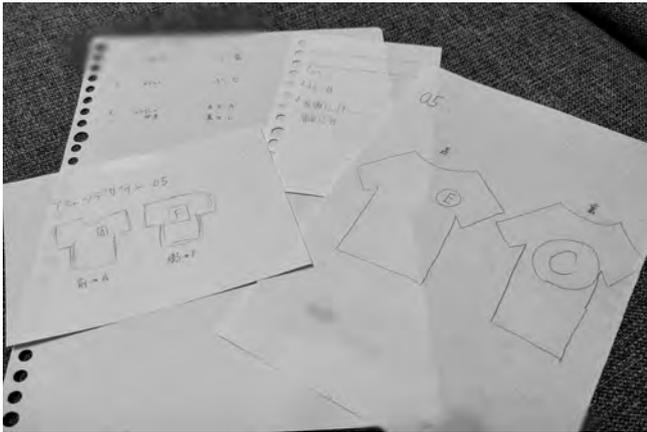
地域と共に育ち地域に愛される楽団を目指しており資金面などで地元の協力を仰ぎたい。

学校部活動では難しかった外部(地元企業など)の協力が地域部活動では可能になると考えており、費用などの支援をもらった見返りに地元で演奏するなどの流れが生まれることが望ましいと考えている。

<p><b>参加者</b> (予定人数)</p>	<p>対象学年 小学4年生～大学生まで 人数 7名 今後の予定人数 15名</p>
<p><b>募集方法</b></p>	<p>イベント演奏時にチラシ配布 SNSでレッスン内容を公開しつつ団員募集 定期演奏会(学校部活動ではない規模の照明や演出)の演奏動画を活用した団員募集 →駅前のデジタルサイネージ掲載</p>
<p><b>指導者</b></p>	<p>プロで活動している東葛地区出身の「Passo a Passo」(トランペット藏持智明、サクソ松井 拓野)講師。 →出身校の東京藝大や洗足学園音楽大学の人脈を活用し、ゲスト講師を招くことも。 外部顧問に柏市立増尾西小学校校長「田嶋 勉」全日本吹奏楽コンクール課題曲にも過去4度(うち朝日作曲賞を1度受賞)選出。</p>
<p><b>移動手段</b></p>	<p>保護者による送迎、電車</p>
<p><b>活動費用</b></p>	<p>入団金 10,000円(初回のみ) 月団費 12,000円(毎月) →月4回の活動</p>
<p><b>スケジュール</b></p>	<p>4月、5月 イベント演奏 8月 合宿 9月、10月 イベント演奏 3月 定期演奏会</p>
<p><b>保険加入等</b></p>	<p>特になし</p>



大阪フィルハーモニー交響楽団：首席トロンボーン奏者「福田えりみ」さんによるレッスン



メンバーで投票して決めたデザインのTシャツ



音大生による個別レッスンの様子